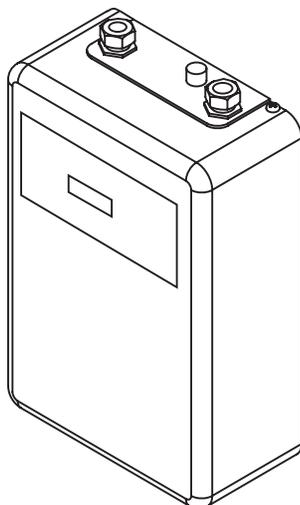




工事要領・取扱説明書

製品名： 超小型電気瞬間湯沸器

型 式： MDT-5600



本製品を安全に正しく設置・ご利用していただくために、事前に必ず本書をお読みいただき、十分に理解してください。

設置工事（試運転）後は本書をご使用になる方に必ずお渡してください。

本書はお読みになった後、いつでも使用できるように所定の場所に保管してください。

株式会社 **イトミック**

〒130-0002 東京都墨田区業平 5-11-3 イトミックビル

TEL:03(3621)2121 (大代表) FAX:03(3621)2130

フロント課 (修理依頼承り先)

TEL:03(3621)2161 (代表) FAX:03(3621)2163

もくじ

安全上のご注	2
警告表示の意味／重要事項：必ずお守りください	
製品概要および各部名称	3
MDT について／各部名称／付属品／別途手配品	
仕様および性能	4
仕様表	
出湯能力	4
出湯能力グラフ	
設置前にお読みください	5
設置場所と取り付けについて／配管工事について／電気工事について	
配管参考例	5
設置方法	6
設置／配管工事／電気工事／外装の取り付け	
試運転	7
ご使用方法	7
使用参考例／湯温の調整方法	
ご使用上の注意	8
お手入れの方法	8
外装の清掃	
リセットの方法（工事業者の方へ）	8
こんなときは	9
アフターサービス	10

安全上のご注意

本書にはお客様への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただく事項を記載しました。設置の前に、本書を必ずお読みになり、内容をよく理解された上で設置してください。

製品引き渡しの際は必ず本書をお客様にお渡しください。

■ 警告表示の意味

本書では、取り扱いを誤った場合などの危険の程度を、次の2つのレベルに分類しています。

 **警告** この表示の欄は、『死亡または重傷などを負う可能性が想定される』内容です。

 **注意** この表示の欄は、『傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される』内容です。



△の記号は、注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。
△の中に具体的な注意内容が描かれています。
(左図の場合は高温注意を意味します。)



⊘の記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
⊘の中や近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
(左図の場合は分解禁止を意味します。)



●の記号は、しなければならない行為（強制行為）を示しています。
●の中に、具体的な指示内容が描かれています。
(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜くこと、という指示です。)

■ 重要事項：必ずお守りください

警告



絶対に分解したり修理・改造を行わないでください。発火、感電、やけど、漏水をしたり、異常動作をしてけがをすることがあります。



給湯中とその直後は本体および配管部分は高温になっていますのでふれないでください。やけどの危険があります。



本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。発火の恐れがあります。

注意



湯沸器本体及び配管に乗ったり、体重をかけたり、物を乗せたりしないでください。漏水、故障の原因となります。



水道（上水道）水以外の物を通水しないでください。破裂、発火、漏電、漏水、故障の原因となります。水道水に添加物を混ぜることも同様の危険があります。



凍結防止対策の確認をしてください。
タンク・配管が破裂してやけどをするおそれがあります。



結露に注意してください。
漏電および故障の原因となります。特に本体のそばでお湯を使用される場合は、換気装置の設置など対策を施してください。



本体は必ず垂直に設置してください。破裂、故障の原因となります。



電源一次側には必ず漏電ブレーカーを設置してください。

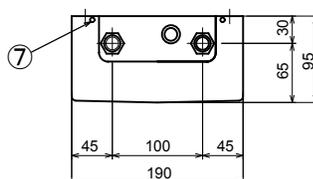


長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがありますので、固形物や変色・にごり・異臭があった場合は飲用にしないでください。給湯温度が60℃以下の場合、今一度やかんなどで沸かしてからお飲みください。

製品概要および各部名称

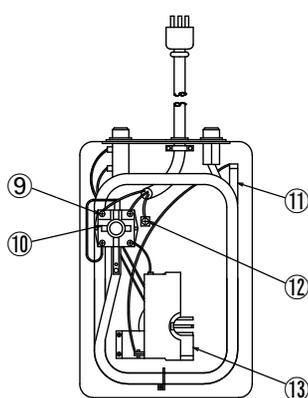
■ MDTについて

イトミックのMDT はとても小さなサイズの壁掛型の電気瞬間湯沸器です。

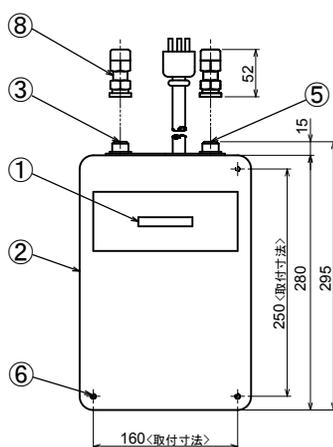


平面図

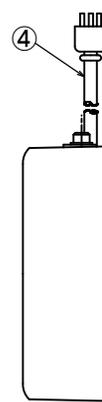
プラグ形状	250V 30A 3P WF-6330
-------	---------------------



電気部品配置図



正面図



右側面図

■ 各部名称

① 銘板	② 外装	③ 給水口 (3/8B)	④ 電源コード
⑤ 給湯口 (3/8B)	⑥ 取付穴 (3ヶ所)	⑦ 外装締付ネジ	⑧ 接続アダプタ (3/8B×1/2B)
⑨ 電源コード接続端子ネジ	⑩ 過昇温防止スイッチ	⑪ ヒーター	⑫ アース端子
⑬ フロースイッチ			

■ 付属品

- 接続アダプタ (3/8B×1/2B) × 2
- カールプラグ × 3
- ナット × 6
- パッキン (3/8B) × 2
- 平ワッシャー × 6
- ハンガーボルト × 3
- 電源コード (1m)
- 工事要領・取扱説明書 × 1 (この冊子です)

■ 別途手配品

- 混合水栓
- 逆止弁
- 安全弁
- ストレーナー
- 止水栓
- 漏電ブレーカー (0.1秒・30mA)

仕様および性能

■仕様表

	MDT-5600
ヒーター容量 (kW)	5.6
定格電流 (A)	28.0
発生熱量 (MJ/h)	20.2
号数換算 (※ 1)	3.2号
使用流量範囲 (リットル/分) (※ 2)	約 2.0 ~ 3.0
温度上昇値	約 40 ~ 27°C
常用給水圧力 (MPa)	0.1 ~ 0.4
標準電源	単相 200V
安全装置	過昇温防止スイッチ
満水質量 (kg)	2.3
使用水温	0 (但し、凍結のないこと) ~ 40°C
周囲温度	0 (但し、凍結のないこと) ~ 40°C
湿度	10 ~ 60% (但し結露のないこと) 以下
本体寸法 (mm) 幅×高さ×奥行	190 × 280 × 95
仕様変更	不可

(※ 1) …号数とは、水温から 25°C 上昇させた時の毎分の出湯量を表します。

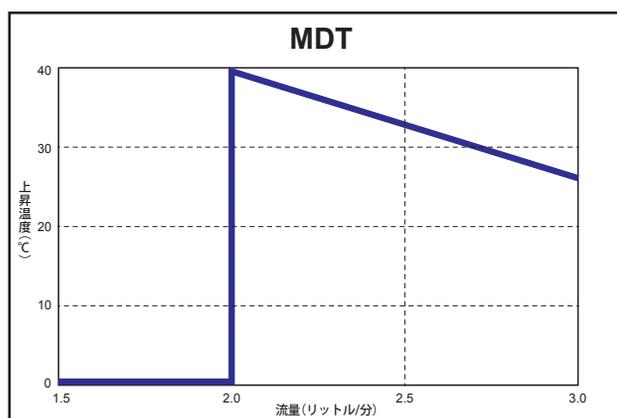
(※ 2) …使用流量範囲は通電が継続する最低の流量で、それ以下の流量しか得られない場合は動作しません。

■補足

- MDT の給湯温度は出湯量 (流量) により変化します。季節の給水温度変化に対応させるための湯温調整は、一次側止水栓での流量調整で行ってください。また、給湯栓の開閉で機器が確実に “ON / OFF” を行っているか確認してください。確認ができた場合、その後は給湯栓の開閉がスイッチの役割をします。ただし、水圧の高い地域や水温の変化によっては給湯栓の開閉では湯温のコントロールが出来ない場合がありますので、止水栓で水量の調整を行ってください。
- 水管部温度が 95°C 以上になるとヒーターへの通電は全てストップします。
- 使用中、給水圧力が 0.1MPa 以下または出湯量 (流量) が 2.0 リットル/分未満になるとヒーターへの通電はストップします。他の給水による水圧変化や給湯栓の絞りすぎにはご注意ください。
- 給湯箇所が機器より離れすぎている場合、動作が鈍くなると同時にヒーターの後焚きにより安全装置が働き、使用出来なくなってしまいますので、配管は必ず最長で 1.5m 迄としてください。

出湯能力

■出湯能力グラフ



MDT は給水温度により給湯温度が変化しますので、必要に応じて混合水栓操作や、止水栓操作による流量の調整などを行ってご使用ください。

設置前にお読みください

1 設置場所と取り付けについて

- (イ). 給湯箇所の近くに設けてください。(給湯配管は最長 1.5m 以内)
- (ロ). 浴室内などの直接水のかかる場所や湿気が多い場所への設置は避けてください。
- (ハ). 火災予防条例に適した離隔距離（「配管参考図」項目内の<参考>表をご参照ください）とメンテナンススペースを確保してください。本器を取り外すためのスペースは必ず必要です。
- (ニ). 運転質量は約 2.3kg になります。壁の強度に十分ご注意ください。強度が不十分な場合は、補強を行うなどの対策を行ってください。
- (ホ). 電源コンセントが設置の近くにあることを確認してください。

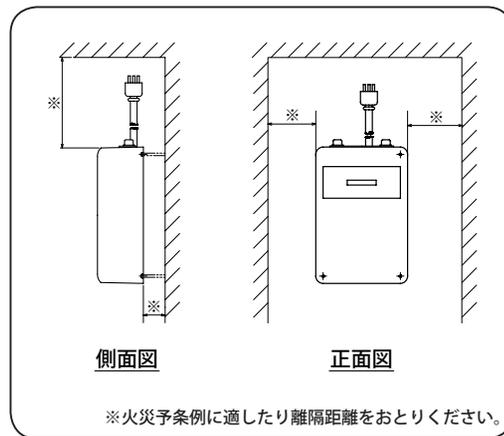
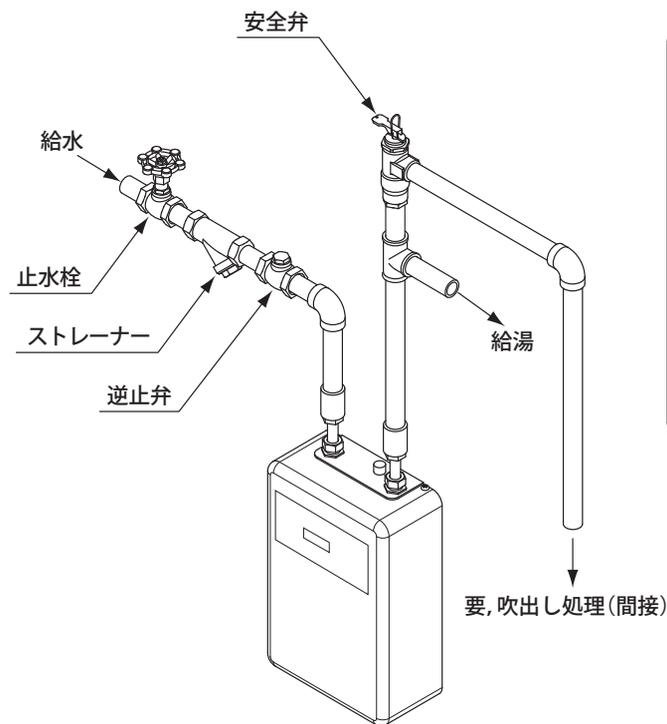
2 配管工事について

- (イ). 給水側に逆止弁・ストレーナー・止水栓を、給湯側には 0.5MPa の安全弁を取り付けてください。
- (ロ). 給湯配管は最長 1.5m 以内としてください。
- (ハ). ポンプ圧力が直接掛るような配管は避けてください。

3 電気工事について

- (イ). 電源一次側に必ず漏電ブレーカー（0.1 秒・30mA）を設けてください。

配管参考例



⚠ 注意

給水側に逆止弁・ストレーナー・止水栓を、給湯側には 0.5MPa の安全弁を必ず取り付けてください。

<参考>東京都火災予防条例第八条の離隔距離

種類	項目	周囲の仕上げ	
		不燃材料以外	不燃材料
12kW以下	上方	40 cm以上	20 cm以上
	側方	4.5 cm以上	1.5 cm以上
	前方	15 cm以上	定めていない
	後方	4.5 cm以上	1.5 cm以上
12kW以上	上方	60 cm以上	50 cm以上
	側方	15 cm以上	5 cm以上
	前方	15 cm以上	定めていない
	後方	15 cm以上	5 cm以上

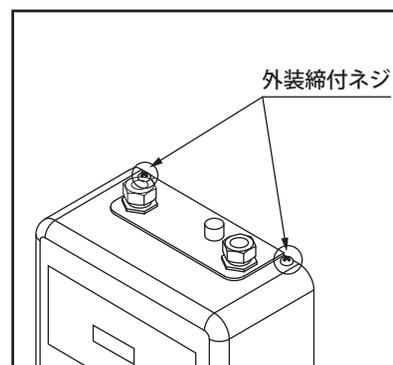
設置方法

⚠ 注意

- 本器は必ず壁面へ垂直に取り付けてください。
- 配管は必ず最長で 1.5m 迄としてください。
- 異種金属の配管をする場合は、電食防止を施してください。
- ポンプ圧力が直接掛かるような配管は避けてください。
- 電気工事は配管工事が終了した後に行ってください。

1 設置

- ① 本体上部の外装締付ネジを外し、外装を取り外します。
- ② 取り付ける壁にネジ止め用の印を付けます。
- ③ 壁にドリルで穴をあけます。(火災予防条例に適した離隔距離をとって垂直に取り付けてください。)
- ④ カールプラグを打ち込みます。
- ⑤ ハンガーボルトにナットをねじ込みます。
- ⑥ ナットを軸にハンガーボルトをねじ込みます。
- ⑦ ハンガーボルトをMDTの本体の取り付け穴に合わせて押し込みます。
- ⑧ ナットをねじ込み MDT 本体を固定します。

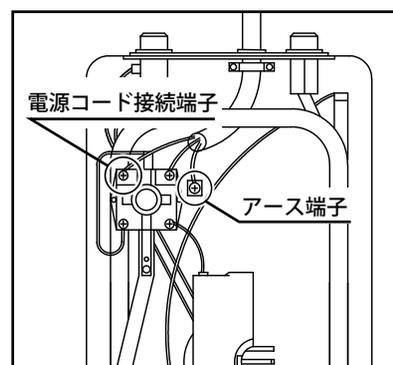


2 配管工事

- ① 給水一次側に逆止弁・ストレーナー・止水栓 (止水および水量調整用) を取り付けてください。
- ② 給水および給湯管接続口に入っている運搬用プラグ 2 本を取り外した後、付属の接続アダプターを取り付け、同梱のナットを使用して配管と接続してください。なお、異種金属の配管をする場合は、電食防止を施してください。
- ③ 給湯側に 0.5MPa の安全弁を必ず取り付けてください。

3 電気工事

- ① 電源一次側に漏電ブレーカー(0.1 秒・30mA)を取り付けてください。
- ② 電源コードを本体上部穴より引き込み、ゆるみがないように電源コード接続端子にしっかり接続してください。(製品には 1m のコードおよび 30A の引掛型プラグが付属しています。)
- ③ アース工事 (D種接地工事) を行ってください。



4 外装の取り付け

- ① 外装を取り外しと逆の要領で取り付けてください。その際、外装が本体に正しく取り付けられている事を必ず確認してください。

試運転

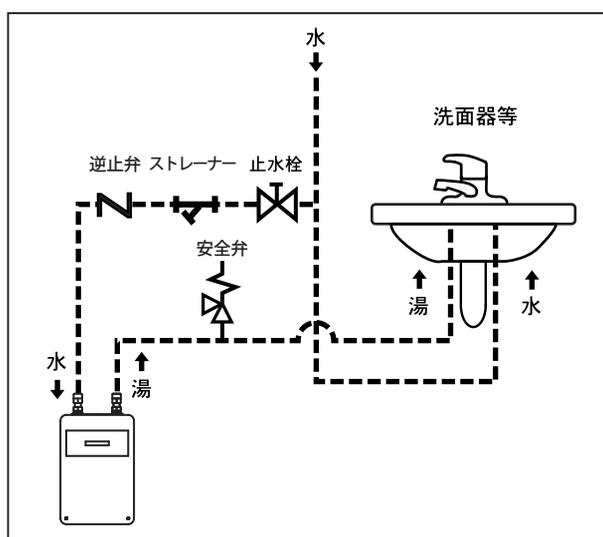
■試運転の流れ

- ① 止水栓および給湯栓を全開にして、給湯栓より水が出ることを確認してください。
- ② そのまま水を出し続け、配管内の不純物などを流し切ってください。
- ③ 給湯栓を閉じて各接続箇所に漏水がないかチェックしてください。
- ④ 一旦水を止め、一次側分電盤のスイッチを ON にしてください。
- ⑤ 漏電ブレーカーを ON にしてください。
- ⑥ 給湯栓を開き、湯温が上昇することを確認してください。（※給湯栓を開いても流量が 2.0 リットル／分未満の場合は通電しませんので、湯温は上昇しません。必ず仕様表に記載されている使用流量範囲でお使いください。）湯温が上昇していれば使用可能な状態になっています。

※正しく運転が行われない場合は、P.9の「こんなときは」をご覧ください。

ご使用方法

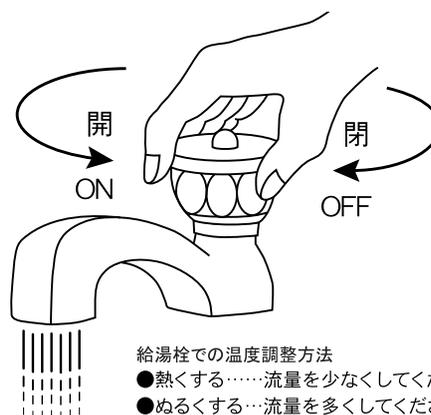
■使用参考例



MDT は組み込まれている水の流れを検知するフロースイッチの働きにより、給湯栓を開いて水を流すことでヒーターへ通電が開始されてお湯を沸かします。

■湯温の調整方法

お湯の温度は給湯栓および止水栓の開き具合により変化しますので、季節やお好みに合わせて調整してください。



給湯栓での温度調整方法

- 熱くする……流量を少なくしてください。
- ぬるくする…流量を多くしてください。

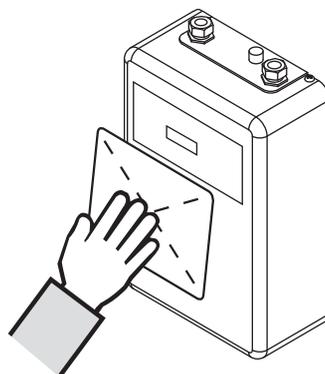
ご使用上の注意

- 1 本器は一般給湯用瞬間湯沸器です。飲用には適しません。
- 2 長時間、運転を休止する時は漏電ブレーカーを OFF にし、電源を切っておいてください。
- 3 本体に直接水がかからぬ様ご注意ください。万が一、内部に冠水した場合は、即、電源を切って完全に乾かしてからご使用ください。
- 4 断水時は使用出来ません。電源を OFF にしてください。(長時間休止後や断水後は、にごり水が出る場合があります。完全に流出させてからご使用ください。)
- 5 凍結の心配がある地域では止水栓を閉めて排水をしてください。

お手入れの方法

■外装の清掃

外装の汚れは水に浸して固く絞った布で、汚れがひどいときは薄い石鹼水に浸して固く絞った布で拭いてください。なお、お手入れの際には、研磨剤や溶剤などはご使用にならないでください。



リセットの方法 (工事業者の方へ)

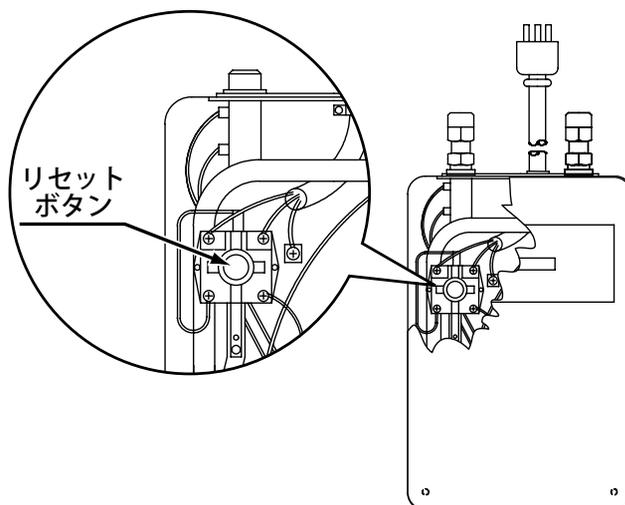
※この操作は本器内部を操作しますので、販売店もしくはサービス店などへご依頼ください。

機器水管部内の温度が 95℃を超えると自動的に過温防止スイッチが働き、運転を停止します。

過昇温防止スイッチが作動した場合は電源を外し、図のリセットボタンへドライバー等を差し込み“カチッ”と音がするまで慎重に押し込んでリセットを行ってください。

尚、過昇温防止スイッチはダイヤフラムやフロースイッチのゴミ詰まりや配管が長すぎる場合にも作動しやすくなります。

上記のリセット操作で運転復帰しますが、必ず原因を取り除くようにしてください。ご不明な場合は弊社フロント課までお問い合わせください。



こんなときは

・一見、故障と思いがちでも実際には製品の故障でないことがありますので、まず下表にてご確認ください。

状況	チェックポイント	アドバイス
お湯が出ない または 出が悪い	<ul style="list-style-type: none"> ・止水栓は開いていますか？ ・断水ではありませんか？ ・ストレーナーがゴミ詰まりしていませんか？ ・配管部分が凍結していませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・閉じていたら、開いてください。 ・水道局へお問い合わせください。 ・ストレーナーの清掃を行ってください。 ・設置工事業者へ凍結防止策をご相談ください。
お湯が全く沸かない	<ul style="list-style-type: none"> ・停電していませんか？ ・ブレーカーが落ちていませんか？ ・端子台への接続は正しく行われていますか？ ・ブレーカーが落ちていませんか？ ・配管は正しく行われていますか？ ・流量が少なすぎませんか？もしくは流量が多すぎませんか？ ・水圧が低すぎませんか？（0.1MPa 以上必要です。） ・過昇温防止スイッチやが作動していませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・電気の復旧をお待ちください。 ・漏電、容量オーバーの可能性があります。電気工事業者にご相談ください。 ・電気工事業者にご確認ください。 ・ブレーカーを ON にしてください。 ・給湯と給水を間違えていないか配管工事業者にご確認ください。 ・通電を行う流量範囲は 2 リットル／分です。この範囲以外では通電しませんので、給湯栓や止水栓を調整してください。また、ストレーナーのゴミ詰まりの可能性もありますので、こまめに清掃を行ってください。 ・水道工事業者へご相談ください。 ・ダイヤフラムやフロースイッチのゴミ詰まりや動作不良、もしくは配管が長すぎる可能性があります。P.8 に記載のリセット操作で復帰しますが、必ず原因を取り除いてご使用ください。
お湯がぬるい	<ul style="list-style-type: none"> ・水温が低すぎませんか？ ・混合栓をお使いの場合、給湯と給水の圧力のバランスは取れていますか？給湯側のバルブは十分開いていますか？ ・流量が多すぎませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・機器能力以上の出湯はできません。 ・やけどに注意し、湯だけ・水だけにして流れる勢いを比べ、バランスが取れていない場合は水道工事業者へご相談ください。 ・給湯栓や止水栓を調整してください。
熱湯が出る	<ul style="list-style-type: none"> ・水温が高すぎませんか？ ・混合栓をお使いの場合、混合栓が故障していませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・昇温温度固定です。水温に応じて出湯温度は変化します。混合水栓を使用して温度調節をしてください。 ・お買い上げ販売店にご相談ください。
汚れたお湯が出る	<ul style="list-style-type: none"> ・近くで断水や水道工事はありませんでしたか？ ・配管が腐食していませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・水がきれいになるのを待ちください。 ・いわゆる赤水が続く場合、建築業者や水道工事業者等へご相談ください。

上記の対処を行っても不具合が改善されない場合は、機器の故障が考えられますので次ページをご参照の上、弊社フロント課もしくは裏表紙記載の最寄りの地区販売会社までご連絡ください。

アフターサービス

修理をご依頼される時は、下記の故障状況シートをコピーして必要事項にご記入いただき、FAXにてご送付ください。FAXをお使いになられていない場合は記入事項をお電話にてご連絡ください。

型番等は本体に貼られている保証票に印刷されておりますので、故障状況シートへ転記してください。

保証票 GUARANTEE LABEL	
型番 Model	<input type="text"/>
型式許可番号 電源・電力	屋内用
製造番号 Serial NO.	<input type="text"/>
<input type="text"/>	最高使用圧力 MPa
株式会社 日本イーミック	

フロント課 TEL 03-3621-2161 FAX 03-3621-2130

※もしくは裏表紙に記載の最寄り地区販売会社へご連絡ください。

故障状況シート			
貴社名	<input type="text"/>	ご担当者名	<input type="text"/>
ご住所	<input type="text"/>		
TEL	<input type="text"/>	FAX	<input type="text"/>
製品型番	<input type="text"/>		
電源・電力	<input type="text"/>	製造番号	<input type="text"/>
設置場所	<input type="text"/>	保証期限	<input type="text"/>
状態	<input type="text"/>		

アドバイス&メンテナンス

データベース管理と専門技術で安心・快適のサポート。

お買い上げいただいた機器はすべてデータベースに登録。定期点検の時期などを的確に管理し、豊富な経験と優れた技術を兼備した専門スタッフが責任をもってサポートいたします。イトミック製品を安心してお使いいただくとともに快適な温水環境をお届けするため、アドバイスとメンテナンスを心を込めて提供いたします。

アフターサービスのお問い合わせ

ITOMIC 全国共通ナビダイヤル
オー！イトミック
TEL **0570-011039**
ご依頼時に必ず型番・製造番号をお知らせください。

メンテナンス契約

弊社製品を永くお使いいただくためにはメンテナンス契約が有効です。詳しくは下記の弊社フロント課までご連絡ください。また、部品のご注文もフロント課で承っています。

TEL : 03-3621-2161(代)
FAX : 03-3621-2163

24時間サービス体制

夜間専用電話：東京 03-3621-2161

●ISO9001 認証取得 ●経済産業省電気用品製造事業届出工場 ●日本水道協会検査委託登録工場 ●日本電気工業会正会員 ●日本ボイラ協会会員 ●建設業許可

株式会社 **イトミック**

営業本部

〒130-0002 東京都墨田区業平 5-11-3 イトミックビル
TEL03(3621)2121(大代表) FAX03(3621)2130

フロント課 (保守・部品・修理)

TEL03(3621)2161(代表) FAX03(3621)2163

北関東営業所

〒306-0234 茨城県猿島郡総和町上辺見 2265 TEL0280(31)3921 / FAX0280(31)3590

本社工場

〒143-0002 東京都大田区城南島 4-6-8

TEL03(3799)7311(代表) FAX03(3799)7310

ホームページ <http://www.itomic.co.jp>

《地区販売会社・営業所》

北海道地区	●(株)北海道イトミック	〒063-0801 札幌市西区二十四軒1条5-1(ラポール24軒2号館)	TEL 011(615)6681(代)	FAX 011(615)7004
東北・新潟地区	●(株)東北イトミック	〒981-3125 仙台市泉区みずほ台4-3	TEL 022(773)6161(代)	FAX 022(773)6213
中部・北陸地区	●(株)中部イトミック	〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-16-30(丸の内魚住ビル)	TEL 052(222)2561(代)	FAX 052(222)2559
近畿地区	●(株)関西イトミック(株)	〒541-0041 大阪市中央区北浜3-7-12(東京建物大阪ビル)	TEL 06(6226)0800(代)	FAX 06(6226)0802
	// 神戸営業所	〒650-0001 兵庫県神戸市中央区加納町4-4-17	TEL 078(325)2833(代)	FAX 078(325)2832
中国・四国地区	●(株)中国イトミック	〒730-0051 広島市中区大手町1-7-12(徳永ビル)	TEL 082(240)1361(代)	FAX 082(240)1363
九州・沖縄地区	●(株)九州イトミック	〒812-0007 福岡県博多区東比恵3-28-5	TEL 092(481)3911(代)	FAX 092(481)3930